

NY マーケットレポート (2016年11月8日)

NY 市場では、米大統領選の投票結果を見極めたいとの様子見ムードから、序盤は小動きの展開となった。ただ、民主党候補のヒラリー・クリントン氏が優位との見方から、米経済の混乱は避けられるとの観測が広がり、ドルは堅調な動きとなった。また、株価や米債券利回りの上昇を受けて、円を売る動きも強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。午後には、選挙結果を見極めたいとの思惑もあり、限定的な動きとなった。

2016年11月8日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.43	104.60	104.31
EUR/JPY	115.46	115.50	115.12
GBP/JPY	129.78	129.82	129.29
AUD/JPY	80.46	80.77	80.27
EUR/USD	1.1056	1.1057	1.1030

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.82	104.42
EUR/JPY	115.71	115.43
GBP/JPY	130.03	129.84
AUD/JPY	80.67	80.46
EUR/USD	1.1068	1.1036

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	105.17	105.20	104.58
EUR/JPY	115.87	116.00	115.54
GBP/JPY	130.12	130.37	129.44
AUD/JPY	81.78	81.80	80.58
NZD/JPY	77.80	77.85	76.75
EUR/USD	1.1020	1.1055	1.1008
AUD/USD	0.7777	0.7779	0.7693

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18332.43	+72.83
S&P500	2139.53	+8.01
NASDAQ	5193.49	+27.31
日経225 (CME)	17310	0
トロント総合	14656.84	+4.39
ボルサ指数	48470.99	+420.74
ボベスパ指数	64157.68	+106.03

11/9 経済指標スケジュール

08:30	【オーストラリア】11月ウエストバック消費者信頼感指数
08:50	【日本】9月貿易収支
08:50	【日本】9月経常収支
10:30	【中国】10月生産者物価指数
10:30	【中国】10月消費者物価指数
13:30	【日本】10月企業倒産件数
14:00	【日本】10月景気ウォッチャー調査
16:30	【フランス】10月企業センチメント指数
18:30	【南アフリカ】10月SACCI景況感指数
18:30	【英国】9月商品貿易収支
20:00	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
23:00	【メキシコ】10月消費者物価指数
00:00	【米国】9月卸売在庫
00:00	【米国】9月卸売売上高
05:00	【ニュージーランド】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1274.50	-4.90
NY 原油	44.98	+0.09
CMEコーン	354.25	+8.00
CBOT 大豆	1011.25	+12.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.862%	0.814%
3年債	1.024%	0.976%
5年債	1.333%	1.286%
7年債	1.646%	1.601%
10年債	1.864%	1.826%
30年債	2.624%	2.601%

ドイツ10年債	0.188%	0.154%
英国 10年債	1.237%	1.202%

11/9 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年債入札
- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

22 : 05

◀ 要人発言 ▶

エバンズ・シカゴ連銀総裁

- ・「米経済の成長は上向きつつある」
- ・「インフレは引き続きやや低い水準で推移」
- ・「雇用の伸びはこの3ヵ月、良好だった」
- ・「インフレ期待が低下していることを懸念」
- ・「実質金利の予測は過去より低い」
- ・「インフレ目標を引き上げるのは非常に困難」

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ住宅着工件数 19.29万件（予想 19.50万件・前回 21.94万件）
 前回発表の22.06万件から21.94万件に修正



出所：Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月カナダ住宅建設許可（前月比） -7.0%（予想 -4.3%・前回 11.0%）
 前回発表の10.4%から11.0%に修正

22 : 55

◀ 要人発言 ▶

エバンズ・シカゴ連銀総裁

- ・「2014年以降のドル高は、輸入物価を押し下げた」
- ・「輸入物価の低下は国内インフレへの向かい風だった」
- ・「FOMCの物価目標引き上げの利点は協議に値する」
- ・「米経済のインフレ期待について懸念がある」

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米 JOLT 労働調査[求人件数] 548.6 万件 (予想 548.8 万件・前回 545.3 万件)
 前回発表の 544.3 万件から 545.3 万件に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀ JOLT 労働調査 ▶

9月・・・8月・・・7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月
 求人件数・・・548.6・・・545.3・・・583.1・・・564.3・・・551.4・・・584.5・・・567.0

9月の求人件数は、市場予想の範囲内の 549 万件となり、今年最低だった前月から増加した。9月に雇用された労働者は 508 万人と、前月の 527 万人を 19 万人下回った。この結果、雇用率は 3.5% と 4 か月ぶり低水準に落ち込んだ。建設業の求人は +22.1 万件となったが、娯楽・ホスピタリティの分野は減少した。また、ビジネスサービス、ヘルスケア、金融関連で求人が増加した。そして、自発的離職者は約 307 万人、離職率は 2.1%、解雇者は 147 万人となった。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月英 NIESR GDP 予想 0.4% (前回 0.5%)
 前回発表の 0.4% から 0.5% に修正



出所：Bloomberg

2:35

◀ 要人発言 ▶

エバンズ・シカゴ連銀総裁

- ・「インフレは低い状況が続いている、上昇が必要」
- ・「米経済、潜在的な成長率は1.75-2.00%のレンジに」
- ・「オーバーシュートはインフレ期待押し上げの効果がある」

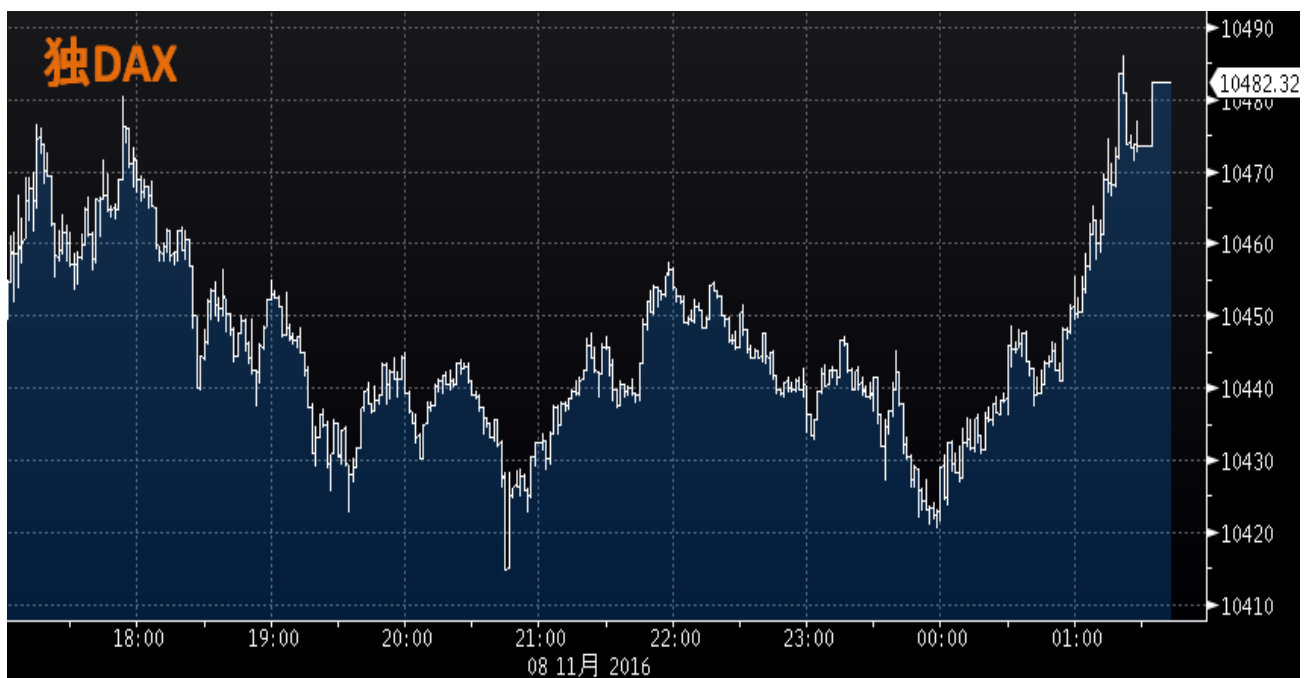
3:00

◀米財務省3年債入札▶

最高落札利回り・・・1.034%（前回 1.045%）
 最低落札利回り・・・0.895%（前回 0.900%）
 最高利回り落札比率・・・58.67%（前回 56.64%）
 応札倍率・・・2.65倍（前回 2.92倍）

◀欧州株式市場▶

欧州株式市場は、米大統領選結果を見極めたいとの様子見気分が強く、主要株価は限定的な動きとなった。



出所：Bloomberg

4:05

◀ 要人発言 ▶

エバンズ・シカゴ連銀総裁

- ・「辛抱強い姿勢を続けることは良い状況につながる」
- ・「2%インフレに届かないのは深刻な後悔もたらす」
- ・「予想される金利軌道は次回利上げより重要だ」
- ・「コアPCE物価が1.9%上昇になるまで利上げ見送りを」
- ・「2017年末までに3回の利上げ、インフレ面で適切におこなう必要がある」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 4.90 ドル安の 1 オンス=1274.50 ドルで取引を終了した。

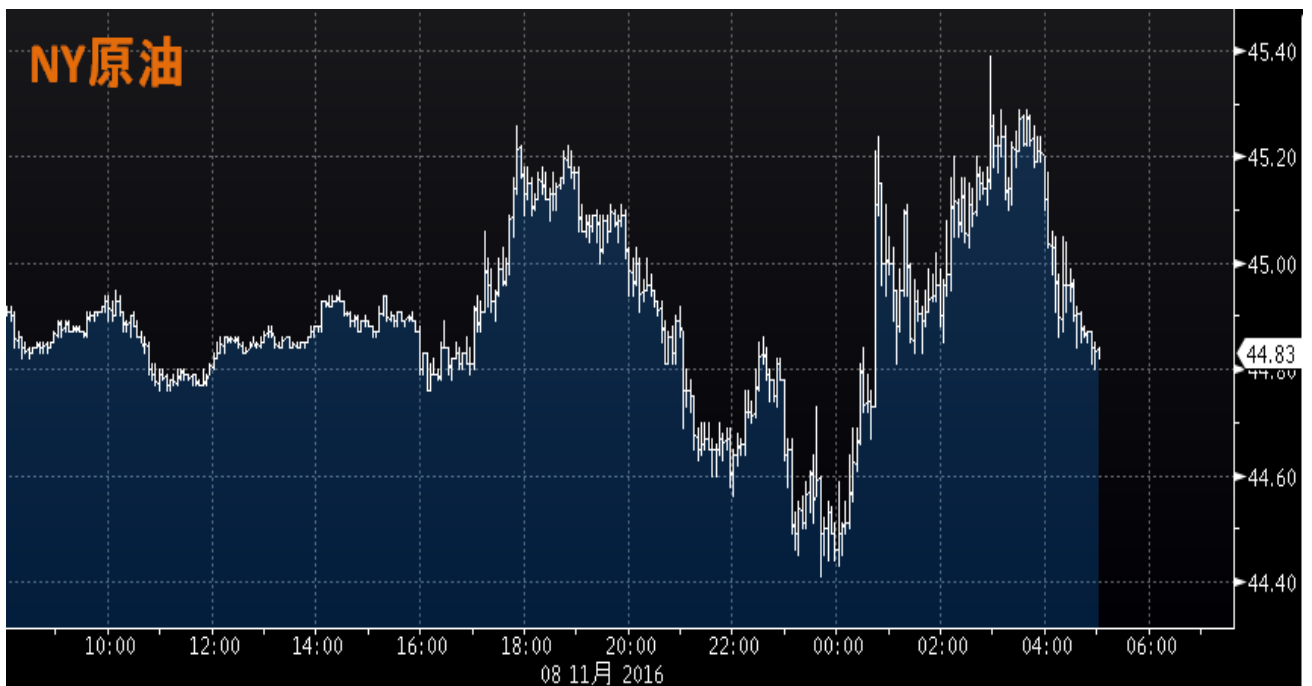
NY 金は、米国の株高で投資家のリスク志向が強まり、比較的安全な資産とされる金を売る動きが優勢となった。ただ、米大統領選の結果を見極めたいとの様子見ムードも強く、下げ幅は限定的となった。



◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.09 ドル高の 1 バレル=44.98 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米大統領選の結果を見極めたいとの様子見気分が広がる中、米国株の上昇が投資家心理を支え、買いが優勢となった。



《米株式市場》

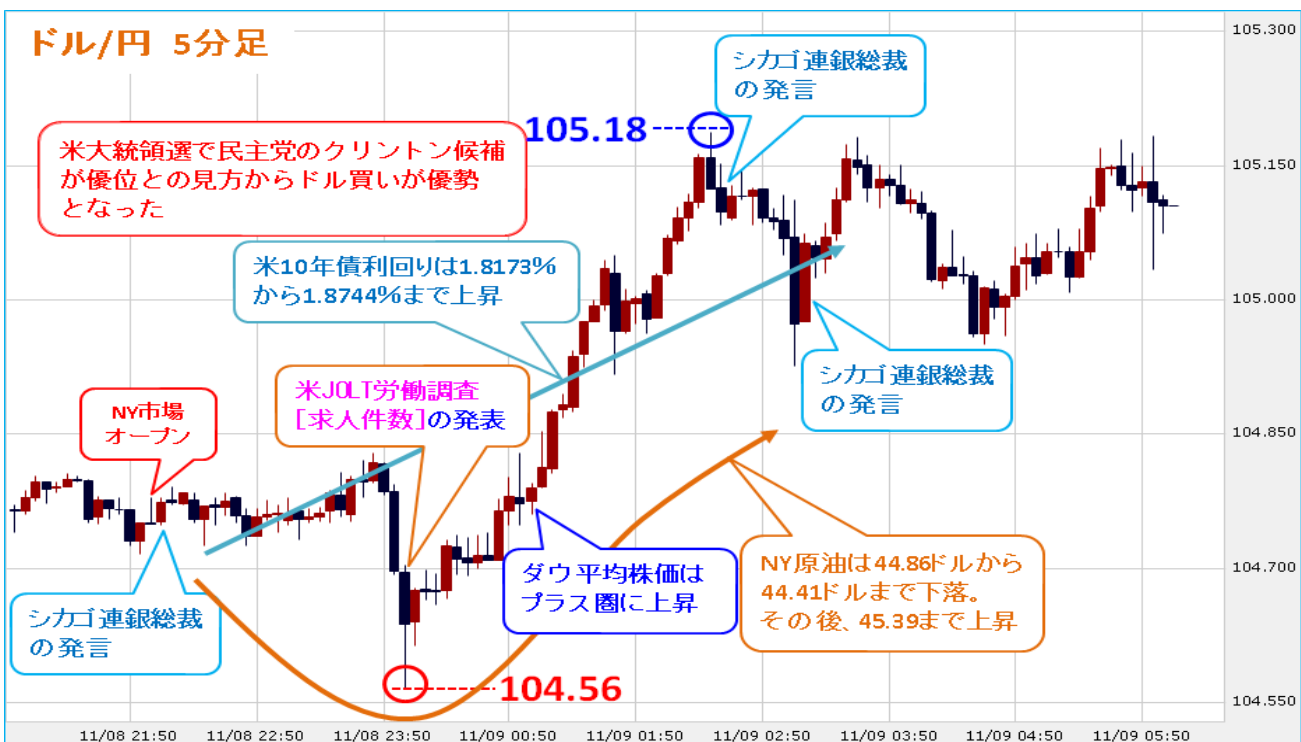
米株式市場は、前日の大幅上昇となった反動から、序盤は利益確定の売りが先行した。しかし、米大統領選で民主党のクリントン候補が優位との見方から、米経済が混乱することへの懸念が後退し、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤前日比 58 ドル安まで下落したものの、その後は堅調な動きが続き、一時 140 ドル高まで上昇した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤から米大統領選の結果を見極めたいとの様子見ムードが強まったものの、その後はクリントン候補が優位との見方からドル買いが優勢となった。また、株価や米債券利回りの上昇も押し上げ要因となった。ただ、午後には入ると、思惑が交錯し、限定的な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。